

3-4 動線別の取り組み方針

南口周辺地区の「まちづくりの軸」となる「とちの木通り」については「シンボルロード」と位置づけ、シンボルにふさわしい景観のあり方や、にぎわいの創出のための方策について、地区住民や沿道の地権者とともに検討します。

その他の動線については、現在の道路空間を活かしながら、歩行者の回遊性の向上や北口との連携の強化、自動車交通の処理の円滑化など、それぞれの機能の向上を図ります。

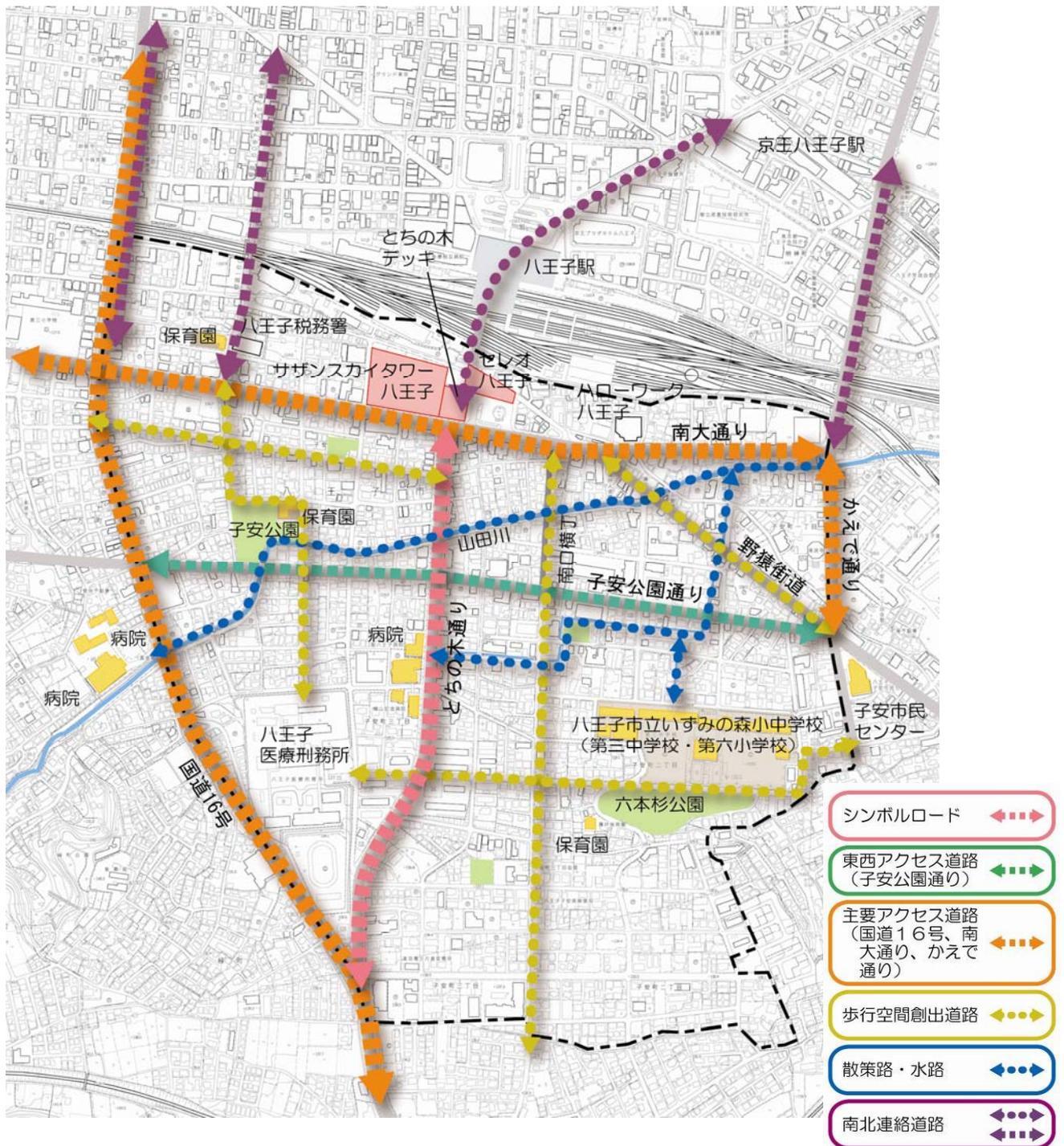


図 八王子駅南口周辺地区まちづくり方針の動線

★シンボルロード【まちづくりの軸】★

将来イメージ

とちの木通りは、駅南口と新たな集いのゾーンをつなぎ、多くの人々が往来する地区内のシンボルロードとなっている。

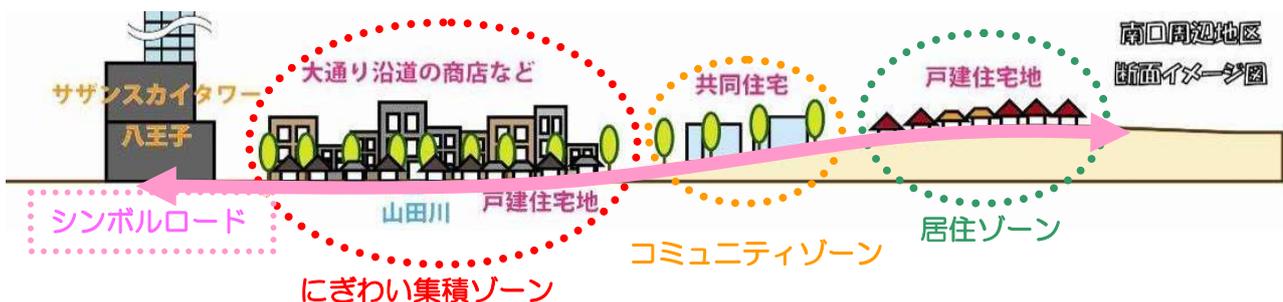
また、沿道には買い物などを楽しめる店舗が並び、多くの人々が安全・快適に楽しく往来できる空間となっている。

さらに、沿道建物のデザインやスカイラインの統一、緑化などが行われ、まちのシンボルにふさわしい良好な景観が形成されている。

取り組み方針

◎地区の“シンボルロード”にふさわしい景観と、にぎわいの形成に取り組みます。

- イベントの開催やマップ作成など店舗出店者や地区住民によるまちづくり活動を支援するとともに、イベントなどの開催にあわせて空き家・空き地、道路空間などを活用できる仕組みづくりに努めます。
- シンボルロードにふさわしい景観の整備や、快適に往来できる環境の形成、沿道のにぎわいの形成など、地区住民が望むまちづくりの実現に向け、地区住民によるまちづくりルールの策定などを積極的に支援します。
- 地区のまちづくりに対する機運を高め、沿道の建物の建替えなどの需要の高まりがみられた際には、土地の有効活用を促すため、用途地域・高さ規制の変更や敷地の共同化の促進などを図ります。
- とちの木通りは、「にぎわい集積ゾーン」「コミュニティゾーン」「居住ゾーン」「新たな集いのゾーン」の4つのエリアを貫いているため、各ゾーンの特徴に配慮した沿道の土地利用を図ります。
- 既存の道路空間を活かして、幅員構成の見直しによる歩行空間の創出や、坂道などの地形に配慮した休憩スペースの設置により、自分のペースで安心・安全に移動できる工夫を行います。駅前周辺は、駅から地区内へ歩行者が回遊しやすくなるような工夫を行います。
- 歩行者と自転車利用者がともに安全で快適に移動ができるような方策を検討します。



★東西アクセス道路（子安公園通り）★

将来イメージ

地区住民の東西方向の動線として十分な歩行空間が確保され、安全に往来できるとともに、南側の住宅地から駅周辺へと向かう歩行者が安心して道路を横断できるなど、地区内の回遊性が向上している。

沿道には、日用品を取り扱う商店やサービス業関連施設が立地し、周辺住宅地の生活利便性が確保されている。

取り組み方針

◎地区の東西の軸として、住民の生活利便性と安全性の確保に取り組みます。

○歩行者が安全に往来できるよう、既存道路の幅員構成の見直しによる歩行空間の確保を図るため、関係機関との協議を進めます。

○沿道に日用品などの買い物ができる店舗や、店舗が併設された集合住宅の立地を誘導するなど、生活利便性を高めるためのまちづくりルールなどの策定に努めます。

★主要アクセス道路（国道16号、南大通り、かえで通り）★

将来イメージ

国道16号及び南大通り、かえで通りでは、自動車・自転車交通の主軸として活用され、地区内では通過交通が少なく、歩行者が安全に往来できる空間となっている。

特に南大通りでは、にぎわい集積ゾーンと一体的なまちづくりが進められ、駅前にふさわしいにぎわいと魅力が生み出されている。

取り組み方針

◎地区の自動車・自転車交通の主軸として、交通処理機能の向上に取り組みます。

○南大通りは、にぎわい集積ゾーンの整備とあわせて、駅周辺のにぎわい創出に寄与する施設の立地を誘導するまちづくりルールなどの策定に努めます。

○国道16号などについては、都市計画道路の早期整備とあわせて、歩行空間の確保を求めています。

○南大通りでは、自転車を利用する人も多いため、歩行者と自転車利用者がともに安全で快適に移動ができるような方策を検討します。

★歩行空間創出道路★

将来イメージ

必要に応じた柔軟な交通規制等の導入など、道路空間の使い方を工夫することで、歩行者が安心・安全に往来できる空間となっている。

また沿道では、ガーデニングなどにより緑化が施されるなど、地域の魅力を向上させる市民の取り組みも積極的に行われている。

南口横丁や野猿街道沿道では、個性的な店舗の立地とあわせ、街路の特徴を活かした奥行きのある、歩いて楽しい空間が創出されている。

取り組み方針

◎歩行者交通の主軸として、歩くことが楽しくなるような空間の創出に取り組みます。

○歩行者が優先的に安心して快適に往来できる、歩きやすい歩道やコミュニティ道路などの整備を推進します。

○イベントの開催やマップ作成など店舗出店者や地区住民によるまちづくり活動を支援するとともに、イベントなどの開催にあわせて空き家・空き地、道路空間などを活用できる仕組みづくりに努めます。

○地区住民による庭のガーデニングや沿道の緑化など、まちの魅力の向上に寄与する活動を積極的に支援します。

★散策路・水路★

将来イメージ

山田川や水路に沿った道路空間は、周辺の環境と調和した、水と緑を身近に感じることができる散策路として親しまれている。また、災害時に湧水や河川水などを地域で活用できる仕組みも整備されている。

取り組み方針

◎南口の特徴である豊かな緑・水辺に親しめる空間の創出に取り組みます。

○山田川沿川は、水と緑を身近に感じられる憩いの空間とするため、歩行空間の確保や緑化・意匠・色彩などの調和を図るため、まちづくりルールなどの策定に努めます。

○日頃から地区の湧水や河川などに親しめる空間を創出するとともに、災害時にも地域で活用できる仕組みづくりに努めます。

○水路などを活用し、地区の貴重な資源である湧水や六本杉公園をつなぐ散策路などの整備を進めます。

★南北連絡道路★

将来イメージ

八王子駅の南北を結ぶ主要な動線として、様々な交通手段において、快適に安心して往来できる環境が整っている。

また、サインの設置やマップの整備など、来訪者が駅の南北を回遊したくなるような工夫が施され、北口・南口とも多くの人々でにぎわっている。

取り組み方針

◎すべての交通手段において、駅南北の往来のしやすさを高め、回遊性の強化に取り組みます。

○駅南北の回遊性を高める方策として、医療刑務所用地の整備とあわせて、駅南口をアピールするサインや、歩行者が安全・快適に往来できる南北回遊ルートの設置などを進めます。

○駅周辺における自動車交通及び自転車交通の円滑性や安全性、利便性を高めるため、関係機関と協議し、方策を検討します。